

2024年度在籍者概要と 3年間の動向について

(令和6年5月1日現在)

対象：2024年度学生基本情報より、衛生士専門学校生、留学生別科、大学院生を除く。

出身都道府県は、出身高校所在地（留学生を除く）に基づいている。

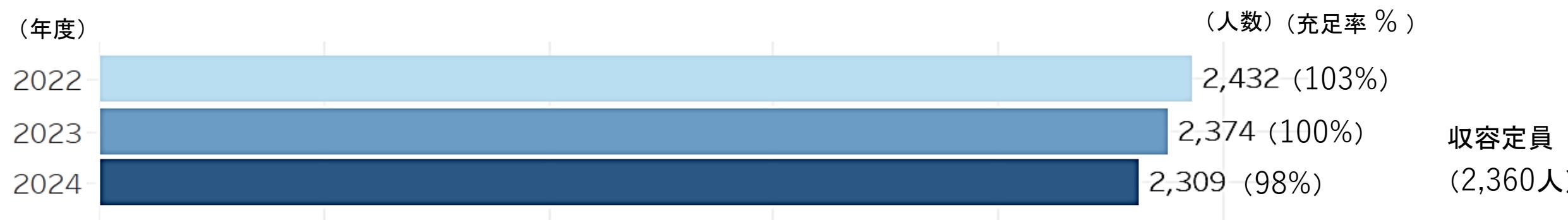
ただし、高等学校卒業程度認定試験合格者や帰国子女に関しては、保護者住所を出身地とみなした。

留学生については、在留資格が留学となっている者を留学生として扱った。

1. 過去3年間の在籍人数(留学生含む)の動向

2022年度から2023年度にかけて、学生数は2,432人から2,374人に減少し、2023年度から2024年度にかけて2,374人から2,309人へと減少したが、朝日大学の学生収容定員数は2,360人なので、2024年度の在籍者数は学生収容定員数の0.98倍となっている。

全体(留学生を含む)



2. 学部別の過去3年間の在籍人数(留学生含む)の動向

法学部では2022年度から2023年度にかけて335人から297人へ減少し、2024年度にかけて247人へと減少した。2024年度の法学部在籍者数は収容定員数(320人)の0.77倍である。

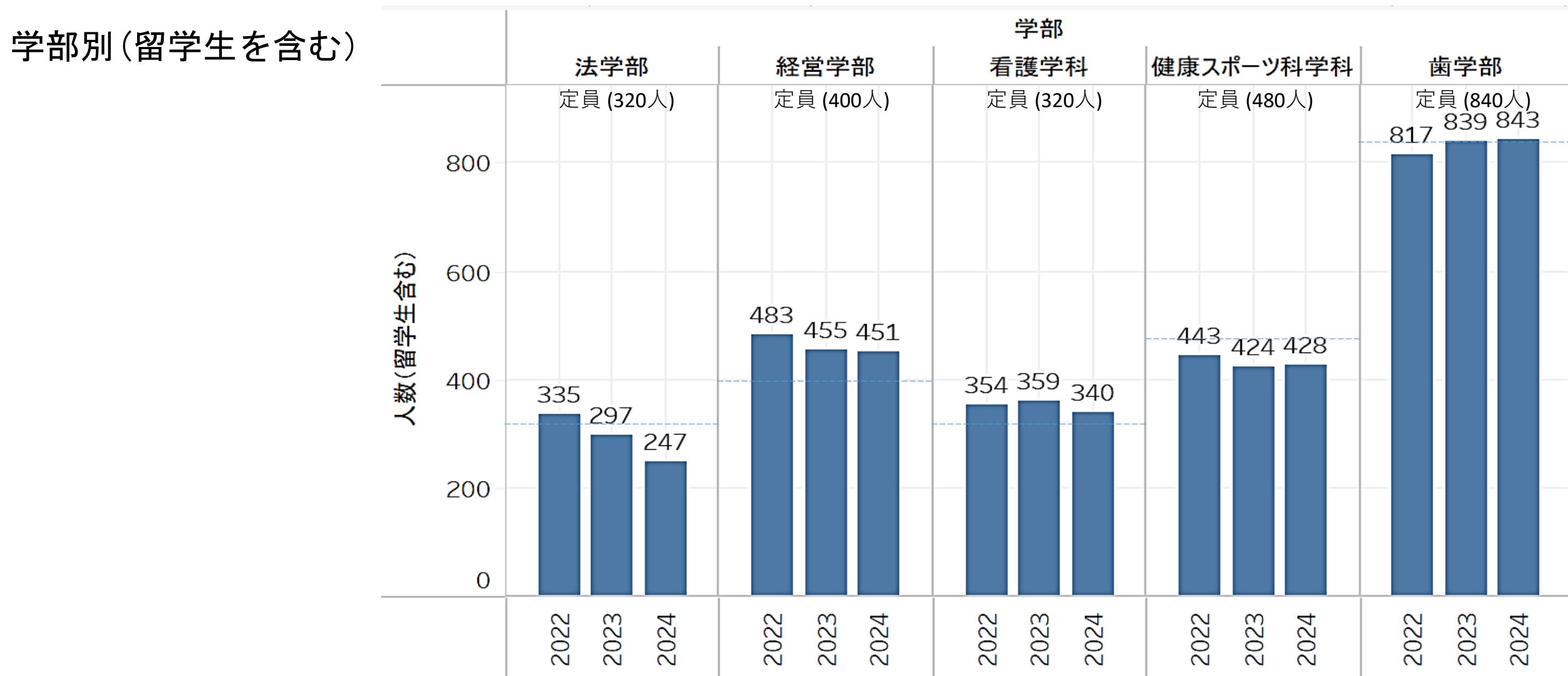
経営学部は2022年度から2023年度にかけて483人から455人へ減少し、2024年度にかけて451人へと減少した。2024年度の経営学部在籍者数は収容定員数(400人)の1.13倍である。

保健康医療学部看護学科は2022年度から2023年度にかけて354人から359人へ微増し、2024年度にかけて340人へと減少した。2024年度の保健康医療学部看護学科在籍者数は収容定員数(320人)の1.06倍である。

保健康医療学部健康スポーツ学科は、2022年度から2023年度にかけて443人から424人へ減少し、2024年度にかけて428人へと微増した。2024年度の保健康医療学部健康スポーツ科学科在籍者数は収容定員数(480人)の0.89倍である。

なお、2024年度の保健康医療学部としての在籍者数は768人で、学部収容定員数(800人)の0.96倍である。

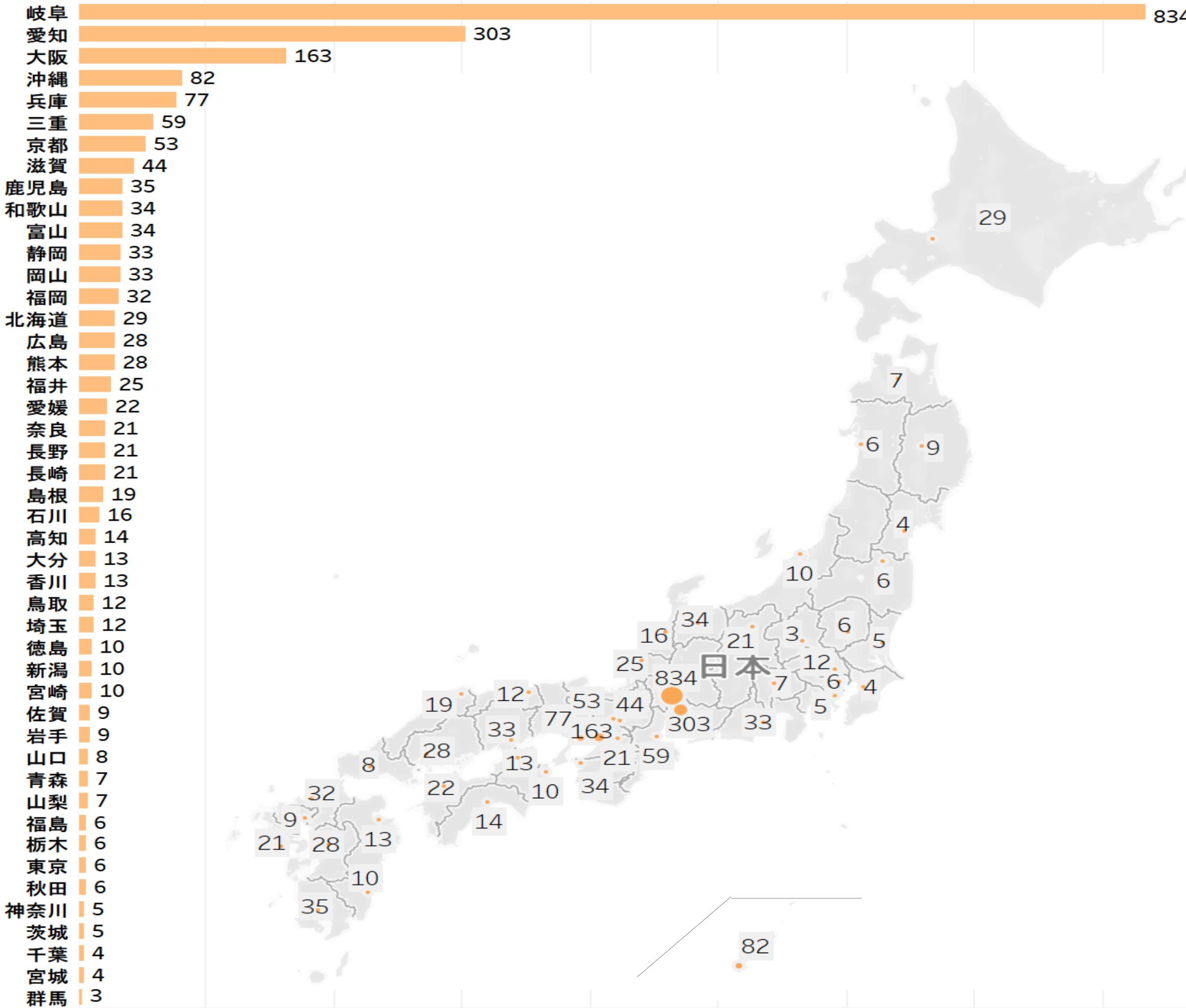
歯学部は、2022年度が817人、2023年度が839人、2024年が843人となっており、2024年度の歯学部の在籍者数は収容定員数(840人)の1.00倍となっている。



3. 全学部出身県

日本国内の学生数は2,225名であり、上位5地域は、岐阜県、愛知県、大阪府、沖縄県、兵庫県である。

47都道府県全地域から学生が集結している。



4. 学部別出身地域

学部ごとの出身地域では、各学部の特徴がみられた。

法学部は、岐阜県、愛知県、沖縄県、富山県、静岡県出身の学生が多い。東海三県と隣県の富山県以外では、沖縄県の学生が多いのが特徴である。

経営学部は、岐阜県、ベトナム、沖縄県、愛知県、タイなどの学生が多い。特にベトナムからの学生が多いのが他学部との違いである。

保健医療学部看護学科は、岐阜県出身者の割合が高く、近隣の愛知県出身の学生と合わせると大部分を占め、地元に根差した学科である。

保健医療学部健康スポーツ学科は、岐阜県、沖縄県、愛知県、鹿児島県、福岡県、大阪府の出身者が多い。他の学部と比べ九州沖縄地域の学生が多いのが特徴である。

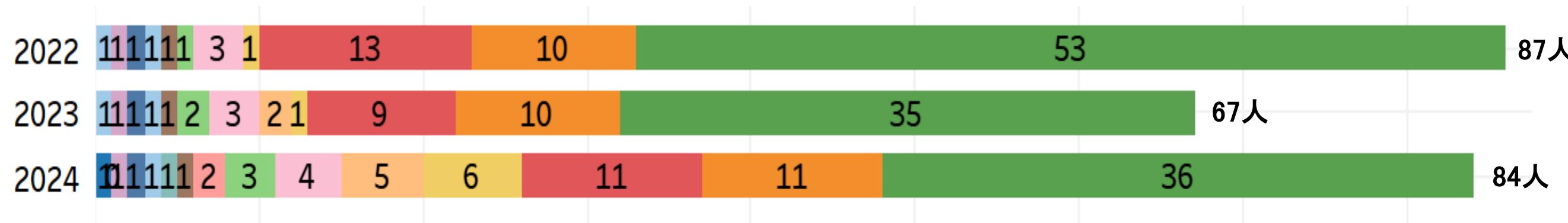
歯学部は、愛知県、大阪府、岐阜県、兵庫県、京都府の出身者が多い。愛知県、岐阜県以外は関西圏からの人気が高いことが伺える。

表 学部別出身地域

	1位	2位	3位	4位	5位
法学部	岐阜県 130	愛知県 21	沖縄県 17	富山県 8	静岡県 7
経営学部	岐阜県 251	ベトナム 35	沖縄県 20	愛知県 18	タイ 11
保健医療学部看護学科	岐阜県 267	愛知県 44	北海道 5	静岡県・滋賀県 4	沖縄県 3
保健医療学部健康スポーツ学科	岐阜県 97	沖縄県・愛知県 27	鹿児島県 22	福岡県 20	大阪府 16
歯学部	愛知県 193	大阪府 145	岐阜県 89	兵庫県 62	京都府 43

5. 留学生出身国3年間の動向

COVID-19のパンデミックの影響を受け減少した留学生数は、2022年度から2023年度にかけては87人から67人へさらに減少しており、パンデミックの影響から回復していなかった。しかしながら2024年度では84人と増加しており、回復傾向を示した。留学生出身国の上位4地域は、ベトナム、タイ、中国、ネパールとなっている。



2024年度 全学部留学生出身国

